

授業概要

アメリカと、アメリカにかかわるイギリスや他の国の歴史、社会、文化を、文学や映画などを通して具体的に考えていく。歴史の流れにそって、その各時代の文化の特質を把握する。適宜、ネイティブ・スピーカーの人たちを交えた交流会・ディスカッションを行ったり、近隣の外国に関わる施設などを訪問することで、実際的な多様な文化や異文化コミュニケーションの理解を深める。

授業計画

第 1 回	導入—英語圏文化とは何か（世界の文化の多様性についての現状と課題の説明）
第 2 回	シェイクスピアの文学—『テンペスト』における先住民とアメリカのイメージ
第 3 回	ピューリタン文化の形成—ヨーロッパ宗教革命と独立戦争（宗教文化の多様性について）
第 4 回	先住民問題 —『ポカホンタス』に見る「インディアン捕囚体験記」と異文化遭遇 （アメリカ最初期の異文化コミュニケーションの実例について考える）
第 5 回	西部開拓と明白なる使命 —『ポウリング・フォー・コロンバイン』に見る米国銃社会
第 6 回	アメリカン・ルネサンスの文学 —ポー、ホーソン、メルヴィル、ソロー、エマソン
第 7 回	英米帝国主義下での奴隷制度—リンカーンと南北戦争
第 8 回	ヴィクトリア朝イギリスの文学—R.L.スティーヴンソン、H.G.ウェルズ
第 9 回	世紀転換期の科学—英米におけるダーウィンの進化論やフロイトの精神分析
第 10 回	異文化との体験交流—施設（近隣のNPO法人・外国人交流会など）訪問の課外授業 （世界の様々な人々と交流し、異文化コミュニケーションの現状と課題を考える）
第 11 回	二つの世界大戦 —二つの大戦とアメリカ（世界の文化の多様性と武力衝突を考える）
第 12 回	米ソ東西冷戦の文化—赤狩りと核兵器の脅威とベトナム戦争 （世界の文化の多様性と武力衝突を考える）
第 13 回	公民権運動—女性・黒人問題と参政権（マイノリティの抵抗と世界の文化の多様性への希求）
第 14 回	大統領選挙—大統領のヒーロー性とポピュリズム政治（多様な世界実現への課題）
第 15 回	総論 多文化共生の時代に—ネイティブ・スピーカーを交えた異文化体験交流会・ ディスカッション（異文化コミュニケーションの現状と課題を考える）
第 16 回	定期試験

到達目標

アメリカにかかわる英語圏の多様な文化や社会や歴史、コミュニケーションの現状と課題について学ぶことで、より深い次元での他者との交流や相互理解を可能にすることを旨とし、また中学校及び高等学校における外国語科の授業の異文化理解の助けとする。

履修上の注意

楽しい授業にしてゆきたいので、積極的な参加を望みたい。
大量の資料を配布するのでファイルを持参のこと。

予習・復習

配布した資料は事前に予習として必ず読み、授業後に再び読み直してほしい。

評価方法

学期末試験（60%）、提出物およびコメントペーパー（40%）などの総合評価

テキスト

プリントなどの配布資料 また参考文献については適宜指定する。